

【自由意見などへの回答（小国まちづくりセンター）】

Q. スポーツも健康の項目である。今の課題は、世話をする人がいない。謝金を出したくても補助金が少ない。百歳体操や 3B 体操は福祉であったりスポーツであったり介護予防であったりコミュニティでもある。ここを大切にすべきではないか。

A. 中山間地における人口減少と少子高齢化による課題の一つと認識しています。

また、地域でのふくっぴーサロン等を担ってきた浜田市社会福祉協議会が令和 5 年度、介護予防・日常生活支援総合事業から撤退し直営にしたことにより、住民サービスが低下しているのご意見が多くありました。この問題は一般質問や福祉環境委員会でも取り上げられ議論しています。現行の資源活用と協力団体との連携によりサービスの質を維持するための工夫も検討されています。改善に向け引き続き協議、研究してまいります。

Q. 介護保険の保険料において、4 階層と 5 階層の対象者に「世帯内に住民税課税者がいる場合」となっており、このことによって負担割合がかなり上がるので制度の見直しを要望したい。

A. 65 歳以上の人の介護保険料は、浜田地区広域行政組合の介護保険サービスにかかる費用などから算出された「基準額」をもとに、皆さんの所得に応じて決まります。この度、このようなお声があったことを市（浜田地区広域行政組合）に伝えます。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、地元就職対策は。

A. 浜田市においては市内の高等学校に対し、雇用推進協議会などと連携して地元企業への就職支援が行われています。また、島根県立大学では卒業後県内就職につながるよう県内高校からの入学者の増加を図る「入試制度改革」を実施されたところです。

Q. 産業全般における人手不足、担い手不足に対する若者対策のうち、UI ターン対策は。

A. 都会地に暮らす方を対象とした相談会や仕事体験ツアー、ウェブサイト「働こう@はまだ」による地元企業の魅力発信など、若者の移住・定住につながる支援が行われています。また、県においても県外流出の抑制に力を入れておられます。産業建設委員会では上記の状況を踏まえ、人手不足・担い手不足に対して調査するとともに、機会を捉え委員会代表質問などで積極的に働きかけてまいります。

※他の会場への回答は市議会ホームページに掲載しています ⇒



【お問合せ先】 浜田市議会事務局 0855-25-9800